

No. 28 号 ひらつかの風

2022年9月号
(令和4年)

ひらつか市民活動センターは、さまざまな分野の市民活動団体やボランティアなどで活動されている人たちや、これから活動しようとしている人たちを応援します。

CONTENTS

- P.1平塚市情報 平塚市みんなのまちづくり事例募集
- P.2~3団体レポート 『一人ももれなく置き去りにしない社会に!』
- P.4センター情報・平塚市情報

団体
レポート

『一人ももれなく置き去りにしない社会に!』 — 差別しないで可能性を伸ばす施設「KILK(キルク)」 —



平塚市情報

第4回

平塚市みんなのまちづくり事例募集

募集期間 ◆ 令和4年9月2日(金) ~ 10月7日(金)

市民活動団体や自治会・町内会などの地域で活動する団体、事業者、大学等が市内で実施する、地域の課題や困りごとを解決する活動・取組みを募集します。

※コロナ禍により、縮小・休止等している活動も応募対象となります。

応募された取り組みはすべて、「平塚市みんなのまちづくり事例集」に掲載し、PRします。

また、応募事例の中から、「年間大賞」を選定し、市長表彰します。

応募用紙や詳しい応募条件は、市ウェブサイトやチラシをご覧ください。

※右記の応募フォーム(二次元コード)からも応募できます。



お問い合わせ ● 平塚市役所協働推進課 市民協働担当

電話 ● 0463-21-9618

『一人ももれなく置き去りにしない社会に!』 — 差別しないで可能性を伸ばす施設「KILC(キルク)」—

「KILC(キルク)」は、NPO 法人神奈川県障害者自立生活支援センターを意味する「Kanagawa Independent Living Center」の各頭文字をとって「キルク」という愛称で親しまれています。今回は、市民活動センターからほど近い桃浜町にある「キルクももはま」を訪ね、現在の活動等の様子を取材してきました。



◀ 椎野氏のインタビュー

■ 設立の経緯と目指す社会像

日米障害者セミナー(1982年)や神奈川県障害者自立セミナー(1983年)開催をきっかけにして、1997年に神奈川県障害者自立生活支援センター(KILC)が開設されました。

ここでは、ピア・カウンセリング(同じような立場や悩みを抱えた人たちが集まって、同じ仲間としておこなうカウンセリング)、各種情報提供、介助者の養成などを行い、障がい当事者の立場から自立生活を総合的に支援します。あわせて、人権擁護や障がい者施策の研究・提言などを地域社会への啓発を通して障がい者自身の視点から行い、真の「共生の社会」を目指しています。



Q. 物品の製作・販売の他には何か取り組んでいるのですか？

A. 自立生活プログラム(ILP)の一環として、上記ピア・カウンセラーによるピア・カウンセリングを実施し、障がい者自身が、自分が生きてきたノウハウを同じ障がい者に伝え自立できるよう手助けをしています。また、地域連携事業でパソコン教室も開いています。さらに、障がい者の自立生活を十分に支援するためには、自立生活に関わる情報提供や調査活動の推進も必要です。センターとしては多くの福祉関係者や専門機関等と連携をしながら推進を図っています。



◀ 作業風景

■ 多岐にわたる障がい者支援事業

「一人ももれなく置き去りにしない社会に!」をキャッチワードにして、「キルク」は様々なサービスを展開しています。当初は、障がい者への偏見の改善を行政に求めたり「自立生活運動」など障がい者の人権を守る運動を行ったりしていましたが、その後、多岐にわたる障がい者支援事業を行っています。管理者の椎野淳子さんに、下記の質問に答えていただきました。

Q. 具体的には、どのような支援事業を行っているのですか？

A. 例えば、「キルクももはま」内の作業所では、「シャーペンやボールペンの組立」など企業からの下請け作業です。そこで得た作業工賃を利用者の方に分配します。その他に、「扇子カバー」や「オーダーメイドのマスク」など自主製品の創作や販売もしています。この取り組みは、単に販売して収入を得るだけでなく、作業技術の習得を図り、創作意欲の幅を広げています。施設外就労では、パンの訪問販売や公園清掃などを行っています。

■ 施設の現状とこれから

新型コロナウイルス禍のため、企業からの仕事の依頼が減ってしまいました。

現在新しい取り組みとして、中原地区や四之宮地区の農家と契約し、収穫したサツマイモや空心菜(くうしんさい)という野菜を施設に運んで施設内で袋詰め等を行った後に出荷する作業を請け負うことができました。これからも、障がい者が少しでも社会に貢献できる機会を増やせることを願っています。「みんなが認め合える多様性のある社会」の実現のために、いろいろな情報を発信していきたいと思います。

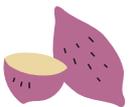


▲ 農家の空心菜の袋詰め

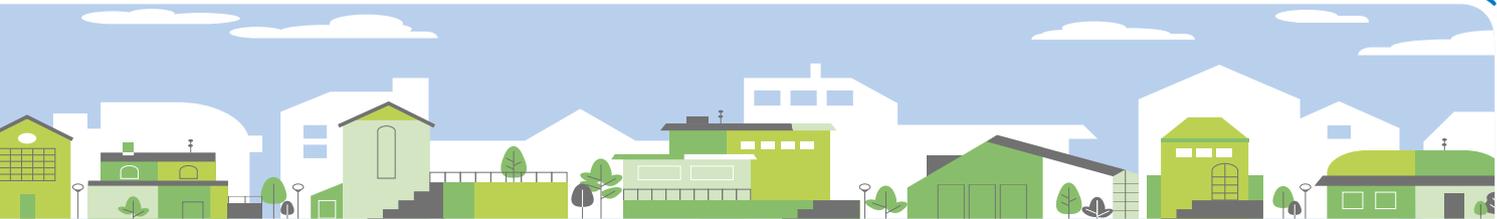
● キルクももはま

〒254-0815

神奈川県平塚市桃浜町 2-36 TEL: 0463-35-2710



取材を終え、「コロナ禍で企業からの下請け事業が減ってしまったが、地域からのいろいろな支援があり事業を継続できている。地域の連携が大切なことが分かった」という言葉が印象に残りました。(せ)



今号では、2面にNPO法人 神奈川障害者自立生活支援センター（KILC）さんを紹介させていただきましたが、障がい者を支援する取り組みの一つ「就労移行支援事業所」についてもご紹介したいと思います。

昨今、日本の人口は減少傾向にありますが、逆に障がい者数は約964万人と増加傾向にあり、18歳から64歳までの障がい者労働人口（377万人）のうち4分の3が未就労であるのが現状です。また、賃金をみてもA型（79千円）B型（16千円）と障がい者の自立とは程遠い結果になっています。（出展元：厚生労働省 障害福祉サービス等報酬改定検討チーム）

そのような状況の下、「一人ひとりの尊厳ある人生を創造し自由にはばたく未来を築く」ことを理念に、障害者総合支援法に基づく就労移行支援事業、就労定着事業を展開されている「一般社団法人ペガサス」代表理事の木村志義さんに就労移行支援の現状などについてお話を伺いました。

現在平塚をはじめ茅ヶ崎、遠くは真鶴から平均20名ほどが通所しており、年代は様々ですが、特に20代～30代の比率が高いそうです。通所するきっかけはインターネットからの情報及び「ほっとステーション平塚」などからの紹介が多いようです。また就職率も90%を超える実績を出しているそうです。

就労移行支援はたくさんのプログラムを用意していますが、「自分を理解できるかどうか（自己理解力）」、そして自分の強みを引き出し、自分は「何ができて、何をしたいのか」を促していくことに力点を置いているそうです。

そのような中、木村さんは「NPO法人しえんの学び舎」の高梨代表に市民活動イベントで知り合いました。高梨さんは元教師で長年の特別支援学級での経験から、木村さんと意気投合したそうです。大人になってからの支援は結果に結びつくまでに時間がかかり、ハードルが高いことをお二人は実感していました。そこで小学生の頃から地域とのつながりの中で「自己理解を深める」こと、活動を通じて「自己肯定感を養う」ことを目的に「ペガサス就職塾」を令和2年より開始しています。そこでの子どもたちの成長は目を見張るものがあると言います。「学校に通えない小学生も就職塾には通ってくる、それは居心地が良いから」と話します。

就労移行支援以外にも、高梨さんとの連携で小学校のスクールカウンセラー向けに出張講座など切れ目のない支援を行うための土台作りも進めています。



◀「ペガサス」代表理事の木村さん



木村さんは、「現在の課題は、通所できたが、それが出来なくなってしまう方が見受けられること」と話します。「ペガサス」ではその課題を解決すべく新たな支援領域拡大による就労移行支援として「在宅支援」サービスを立ち上げました。具体的には、在宅就労を前提とした在宅支援サービス（訓練プログラム）と、一就労後の定着支援サービスです。

●ペガサス平塚センター

〒254-0042

神奈川県平塚市明石町1-17 チェアフル湘南 3F

問合せフォーム

<https://pegasus-job.com/contact/>

取材を終えて

障がいのあるなしに関わらず、自分を理解することは決してやさしいことではありませんが、その一歩を手助けし就労定着まで支援しています。これからの取り組みに多くの期待が寄せられていることと思います。（は）

センター情報

● 団体活動にお役立てください!

協働研修会：平塚市職員とともに学ぶ「行政とNPOの協働」

市職員とともに協働について学び、団体の活動や可能性を広げてみませんか。
 日時 ● 11月2日(水) 10:00～12:00
 講師 ● 手塚 明美 氏 認定NPO法人藤沢市民活動推進機構 理事長
 場所 ● 平塚市教育会館3階大会議室(浅間町12-41)
 定員・対象 ● 20名・協働に興味・関心のあるNPO法人・市民活動団体
 参加費 ● 無料



ひらつか市民活動応援月間 11月1日(火)～11月30日(水)

- ◆ チラシ大賞：投票期間 ● 11月1日(火)～11月25日(金)
表彰式 ● 11月27日(日) 午前中
- ◆ ひらつか市民活動センターマスコットキャラクター「たすけくとあいちゃん」のぬり絵展示
- ◆ 「未来まちづくりへの提案」掲示板の設置
日ごろの活動の中で「嬉しかったこと」や「未来まちづくりへの提案」等を掲示板に投稿してみませんか?



第16回ひらつか市民活動センターまつり 平塚市制90周年記念事業

3年ぶりの開催です。実行委員会の皆さんを中心に楽しい企画をご用意しています。
 日時 ● 11月27日(日) 10:00～15:00
 会場 ● ひらつか市民活動センター、崇善公民館
 出展団体 ● 49団体
 出展内容 ● 展示・相談・体験・パフォーマンス・物販、他
 参加費 ● 無料



※上記イベントは感染症対策を徹底して開催いたします。ご協力をお願いいたします。

平塚市情報

令和5年度 実施協働事業の公開プレゼンを開催します

令和5年度に実施する提案型協働事業の公開プレゼンテーションを次の日程で開催します。
 今回は市民提案型協働事業3件(新規1件・継続2件)の公開プレゼンが行われます。
 日時 ● 10月6日(木) 午後予定
 場所 ● 平塚市役所本館(浅間町9-1)
 申込 ● 不要



お問い合わせ ● 平塚市役所協働推進課 市民協働担当 電話 ● 0463-21-9618

編集後記

新型コロナ感染者がまだまだ多いなか、3年ぶりの行動制限のないお盆が終わりました。一人ひとりの感染防止対策の徹底が必須ですね。また、世界に目を向ければ多くの心配な事象が絶えない情勢です。今回、みんなが互いに多様性を認め合える平和な社会が訪れる事を願いながら、団体レポートの原稿を書きました。ぜひ感想をお寄せください。(せ)



編集・発行

ひらつか市民活動センター

(開館時間 9:00～22:00 年末年始、施設点検日を除く)

〒254-0045
 神奈川県平塚市見附町1-8
 TEL ● 0463-31-7571 FAX ● 0463-35-6601
 Eメール ● info@hiratsuka-shimin.net
 URL ● http://hiratsuka-shimin.net

センター登録団体数(2022年8月15日現在)
 登録団体数 ● 461 団体
 (内訳 市民活動団体…333 団体、一般団体…128 団体)

